
ARIA ~ ザ・アッヴェニーレ ~

伊神識

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ARIA〜ザ・アッヴェニー〜

【Nコード】

N8746F

【作者名】

伊神識

【あらすじ】

時は刻まれ、季節は移り変わる。別れは新たな出会いへの入り口。

その 新しい水の妖精

その 新しい水の妖精

「愛ちゃん、アリシアさんの引退セレモニーは昨日に行われました。今日からは、私の

アリアカンパニーの始まりです。不安はいろいろあるけど、笑顔で送り出したアリシアさ

んを心配させないためにも、一人前のプリマウンディーネとして、頑張ります。」といっ

の間にか生活の一環となったマンホームにいる愛ちゃんにメールを送ったあと、私は一階

に降り、朝ご飯の支度を始めた。

コーンスープをつくりながら、アリア社長が後ろのリヴィングで新聞に載る四コマ漫画

を読んで、なりすますかのようにセリフを言うのを聞きながら、私は意味もなく、笑顔が

浮かぶ。その時、ドアベルが鳴り、いつも朝のこの時間に訪れるシルフのウッディーさ

なんだった。浮き島に住むウッディーさんの実家がニワトリを飼い始め、こうして毎朝ニワ

トリの卵を分けていただいている。一人になった私へのウツディーさんなりの気配りだし

よう。部屋に戻り、できた朝ご飯をテーブルに運び、初日目のアリア社長と二人っきりの

朝ご飯を食べる。いつもそばにいるアリシアさんがいなくなり、慣れない感じはあるが、

寂しくはない。なぜなら、アリシアさんと過ごして来たステキな時間は今、この空間に漏

れなく閉じこまれている。思い出せば、幸せなことばかりだった。そう思いつつ、アリア

社長の元気よく、ご飯を食べ急ぎ、ご飯つぶがほほにつくのを拭き、「ゆっくりと食べて

くださいね」と微笑みだす。

片付けを終え、いよいよシャッターを上げ、私の最初の日が始まる。上げたシャッター

と同時に、冬の朝に吹く、冷たく、気持ちのいい風が吹き込んでくる。ちよつと寒いが、

こんなの、今の私には全然平気な気がする。

カフェフロレンスの店長さんと暁さんのお兄さんの紹介でいた

だいた予約を確認しながら

ら、リストをアリア社長に読み上げる。とその時、マンホームいる愛ちゃんと同じく、日

本から来たお客様の名前に気づいた。思えば、前回来た愛ちゃんのメールに、初等教育を

終えたとの知らせがあった。今ごろ、愛ちゃんはどうしているかなと思いながら、アリシ

アたんから手渡されたオールを取り、アリシアさんと一緒に水を滑ってきて、これから私

と一緒にゆくゴンドラに乗り、最初のお客様をアリア社長と一緒に迎いに漕ぎ出す。

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8746f/>

ARIA～ザ・アヴェニュー～

2010年10月10日17時28分発行